それ行け代陽っ子

八代市立代陽小学校学校便り

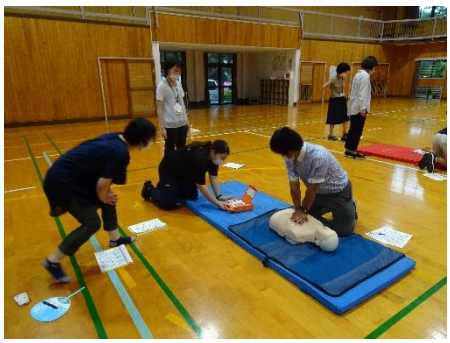
令和３年６月８日（火）発行【第４号】

救急救命講習会～いざというときにあわてないために～

職員研修で、救急救命講習会を行いました。今月からプールでの学習が始まることを受け、万が一の場合に備えて、全職員が落ち着いて対応できるスキルを身につけるという目的で実施しました。なお、今年度は、コロナ感染防止の観点から体育主任や養護教諭を中心とした研修の形式をとりました。

職員は小グループに分かれ、講習用の人形（成人モデル、児童モデル）、AED を用いて、傷病者の発見から、応援要請、胸骨圧迫、AED による電気ショックの一連の流れを体験しました。機械の電子音に合わせ、どのくらいの早さで胸骨圧迫を行うとよいかも体感することができました。

今後心肺蘇生を行う必要が発生した場合に、今回の講習を生かして落ち着いた対応ができるように備えておくことはもちろん、そうした事態が発生しないように、日頃から全職員で児童の安全を守っていきたいと思います。



（国版）コミュニティ・スクール～「地域とともにある学校」を目指して～

代陽小学校は、本年度より（国版）コミュニティ・スクール「代陽小学校学校運営協議会」を設置します。この会は、社会の変化に伴い多様化する学校の課題を解決すべく、保護者や地域の方々と学校の課題を共有し、ともに子供たちの成長に関わっていくための組織です。また、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、互いの信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組むことを目的としています。

すでに、住民自治推進協議会会長、本校 PTA 会長など、１５名のメンバーの選定を終え、第１回の会の開催準備をしているところです。

「安心なまちやつしろプロジェクト」に参加！

八代市では、「安心なまちプロジェクト」を推進しています。

新型コロナウイルス感染症防止対策チェックリストを可視化することにより、市民が安心して生活できるまちづくりを進めるという取組です。

代陽小学校でも、独自のチェック項目を作成し、このプロジェクトに参加しました。児童、職員が安心して学校生活を送れるよう、日々、行動を点検していきます。

「安心なまちやつしろプロジェクト」公式ホームページに掲載されています。

「いきいきと学ぶ　やつしろの子供」（学力向上）

八代市では、学力向上に向けて「よりよい授業づくり」と「家庭学習の充実」に、全ての学校で取り組んでいきます。（以前資料を配付しています）

学校では、１人１台のタブレットを活用して「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、職員間で授業を参観しあったり、情報提供を行ったりしています。

各ご家庭でも、家庭学習を「必ずする」習慣が身につくよう、ご協力をお願いします。